

## 外国語「学校のホームページをつくらう」

中学校・第1学年

### 【本単元の概要】

本単元では、モデル文（まとまりのある文）や表現（単語や文章）の例を参考にして、学校を紹介する英語版のホームページ作成をねらいとしている。また、協働的な学習を通して、他の生徒の考えを知ることにより、自分の考えを膨らませ英語で書くことができるようにする。


### 1 単元の見込み

- モデル文を読んで内容を正しく読み取ることができる。
- 自分の学校を紹介する英語版のホームページに掲載する記事を書く。

### 2 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手が理解しやすくなるように工夫して発表している。</li> <li>・間違ふことを恐れず紹介文を積極的に書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の学校について、内容的にまとまりのある紹介文を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句や表現、文法事項などの知識を活用してモデル文の内容を正しく読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法を正しく運用する知識を身に付けている。</li> </ul>

### 3 単元の指導計画（全3時間）

時	学習活動（協働的な学習活動）	言語活動のポイント
第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科用図書のモデル文を読む。</li> <li>○モデル文を参考にホームページの原稿を個人用ワークシートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4技能（聞く、話す、読む、書く）を用いた活動を総合的に取り入れる。グループで協力し、ホームページの原稿を書く。さらに、他の生徒の原稿を読み、自分の原稿を改善させる。その後、グループごとに発表させる（話す）とともに、他のグループの発表を聞かせる。</li> </ul>
第2時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○モデル文を参考にホームページの原稿を個人用ワークシートに書く。</li> <li>○グループでホームページの原稿を考え、発表用のワークシートに書く。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">協働的な学習活動のポイント</p> <p><b>他者と話し合う必然性のある課題の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の学校を紹介するホームページを作成する。グループ内で、各自作成した英文や考えを積極的に取り入れ、協働的な学習活動を行う。</li> </ul>
第3時 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表に向けてグループで練習する。</li> <li>○ICT機器を使ってグループで作成したホームページの原稿を全体で発表する。</li> <li>○個人で作成した原稿を修正したり、追加したりする。</li> <li>○グループ内で、他の人の原稿を読む。</li> <li>○再び自分の原稿を修正する。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>協働的な学習活動の結果を発表する</p> </div>	<p><b>コミュニケーションを深めるための個に応じた指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に配慮を必要とする生徒には、積極的にグループ学習に参加できるようグループ編成を工夫し、役割分担等を明確にする。</li> </ul> <p><b>互いの考えを知るための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表時に電子黒板を用いて、グループで作成したホームページの作品を提示する。発表で生徒が他のグループの発表を聞くことで、自分の作品を更に改善させる。</li> </ul>

4 本時の学習（第3時）

(1) 特に重点を置いた言語活動のポイント

- ・他のグループの発表を聞き、自分の考えなどを英語で書くよう指導する。
- ・他者の文章を読み、意見や質問をして再度見直して、自分の原稿が推稿できるようにする。

(2) 特に重点を置いた協働的な学習活動のポイント

- コミュニケーションを深めるための個に応じた指導  
教師がデジタルカメラで原稿を撮影し、電子黒板を活用して発表させる。他のグループの発表を聞くことで自分の作品の改善に役立てるようにさせる。

(3) ねらい

他の生徒の発表を聞いて自らの作文を修正するとともに、今まで学んだ様々な表現を使って自分の学校を紹介する英文を書く。

(4) 本時の展開

学習過程	学習活動			指導のポイント
	第1時	第2時	第3時	
課題を把握する	1 本時の課題を把握する。			◆教科書本文を参考にして書かせる。
	自分たちの学校のホームページを作成しよう			
自分の考えをもつ	2 モデル文を読む。 3 ホームページの原稿を書く。			
協働的な学習活動 グループ ↓ 全体	4 グループごとにホームページの原稿を書く。	5 グループで発表の準備をする。 6 グループで考えた自分たちの学校のホームページについてクラス全体で発表する。		◆グループ内で生徒のよいアイデアを出し合わせる。 ◆生徒の作品をデジタルカメラで撮影して電子黒板に映し、発表させる。 ◆グループの発表から、よかった所や改善すべき所を指摘して、生徒に気付かせるようにする。
自分の考えを再構築する		7 自分の原稿を修正したり、追加したりする。		◆他の生徒の原稿を読ませ、よい所や改善すべき点を指摘させる。
協働的な学習活動 グループ		8 グループで他者のホームページの原稿を読み合い、日本語で意見や質問をする。		
自分の考えを再構築する		9 自分の原稿を推稿する。		
自己の変容などを振り返る		10 話し合いについて自己評価を行い、振り返る。		◆話し合ったことのよさを振り返るようにさせる。

検証の成果と課題

◆成果◆

【生徒の感想1】グループの皆で聞き合ったりすることができて、分からないことがまた新たに分かるようになりました。そして、他のグループなどの意見も知って自分の考えが膨らみました。

【生徒の感想2】新しいグループと活動したことで自分の考えに生かすことができました。大変だったけれど、終わった後、達成感がとてもありました。

- ・生徒は教え合うことで達成感を味わい、他の生徒の考えを知ることで自分の考えを膨らませていた。
- ・個人で作成した原稿（第1時）と協働的な学習の後の原稿（第3時）を比較すると、文の量が大幅に増え、自分の考えを書くことができた。
- ・全体発表ではICTを活用し、作品を電子黒板に映すことにより、発表する生徒も聞く生徒も集中できた。

◆課題◆

- ・中学校第1学年の初歩的な英語を学習している段階であるため、本単元ではグループの話し合いは日本語で行ったが、今後は英語で行うことが望ましい。

【本単元での検証結果】自己評価が段階に応じて上がった生徒の割合は29%、生徒の自己評価（学級平均）は10月時の2.9ポイントから11月（本時）の3.9ポイントに上昇した。